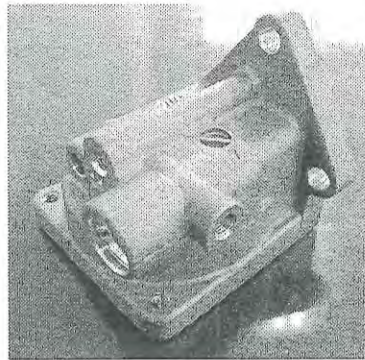


プレジャーボート用部品の一部 ショーワから生産継承

柿沼製作、収益の柱に

倉庫新設 4月から仕上げ加工

【前橋】柿沼製作所(群馬県千代田町、柿沼正博社長、0276-862-2097)は、4月にプレジャーボート用部品の生産を始める。ホンダ系サプライヤーのショーワから同部品事業の一部を継承するもので、一部生産設備は買い取る。2008年の金融危機以降にプレジャーボートの生産量がピーク時の約2割に激減し、ショーワでは採算がとれなくなり、事業規模が小さい柿沼製作所ならば収益が出るという譲渡を決めたと見られる。ショーワとの取引でQCD(品質・コスト・納期)の実績を重ねた点も決め手となった。



プレジャーボート用部品の一部

生産するのは、ボートエンジンとエンジンの角度を調整するパワーチルトリムを構成する部品。協力企業、出荷する。当初の売り上げは、年間4500万円ペース。2011年以降は、一部設備も買い取り生産を始めるパワーチルトリム部品

【前橋】柿沼製作所(群馬県千代田町、柿沼正博社長、0276-862-2097)は、4月にプレジャーボート用部品の生産を始める。ホンダ系サプライヤーのショーワから同部品事業の一部を継承するもので、一部生産設備は買い取る。2008年の金融危機以降にプレジャーボートの生産量がピーク時の約2割に激減し、ショーワでは採算がとれなくなり、事業規模が小さい柿沼製作所ならば収益が出るという譲渡を決めたと見られる。ショーワとの取引でQCD(品質・コスト・納期)の実績を重ねた点も決め手となった。

モノづくり

ショーワからマシンングセンター(MC)6台などを買収するほか、新たに3次元測定機を導入。既存の建屋では部品の保管スペースが足りないため、敷地内に倉庫を新設する。買い取る設備も含め、費用は計1800万円。

ボート市場は10年末ごろから回復を始め、少なくとも現在の2倍には回復すると見ている。そのため11年から本格的な収益貢献を見込んでいる。

で、新規市場の開拓を目的に、成形型や搬送装置などの製造技術を生かして食品機械を開発した。ドリームクラッカーは数種類の穀物を原料とした材料を、花びらや魚などの型で成形、フライヤーで揚げる。温度、油切り、原料の配合などがノウハウがあるが、色や形は自由にできるという。システムは食品工場の既存生産ラインに組み込むことも可能だ。価格はソフト、治具を含み30万円(フライヤー別)。

【WPC処理】は金属表面に40~200μm(マイクロは100万分の1)の微細な粒子を打ち付けて改質する技術。自動車やバイクのピストンやシリンドラなどに施すことで、強度向上や摩擦低減などが図れる。

不二WPC(神奈川県相模原市、下平英一社長、042-707-0776)は、社名が示す通りWPC処理が主力。量産

品は問わず「数個から数百個程度」(下平社長)の注文に特化する。ワーク(加工対象物)の材質はもちろん、粒子を吹き付ける際のノズルの移動、ノズルとワークとの距離で「全く異なるものができることがある」(同)ため、処理技術が付加価値を生み出す。

粒子をぶつける際の温度などを調整し、処理要求に近づけていく。熟練者になると、ディンプル(くぼみ)のつき方で、部品の硬さや表面処理方法などが分かるようになる。

悩ましいのは「前回と同じような処理」という依頼。図面がなく、どういった経過で作られた部品なのか分からないことも多い。下平社長は「部品に問いかけて、処理条件を導くセンスも必要だ」と指摘する。

このため、同社では顧客にあわせて専属の担当者置き、要求に合わせた処理方法を実施する。「会社の技術ではなく、個々がノウハウを保有する」(同)理由がここにある。(木曜日掲載)

食品機械分野に進出

オカモト 搬送装置の技術活用

【広島】オカモト(広島市安佐南区、岡本弘社長、082-874-0702)は、搬送装置などの製造技術を活用して食品機械分野へ進出する。第一弾として精密な形状を再現したクラッカー「ドリームクラッカー」(写真)の製造システムを開発し、発売した。食物をつくりの花びらなどの省力化機械メーカー

を再現したクラッカーを製造でき、ケーキ類のトッピングのほか、テーブル装飾などの用途が期待できるとみている。オカモトは自動車向けの省力化機械メーカー

今後、菓子メーカー、結婚式場などと提携し、売り込む方針。同時に、全国に販売代理店を募集する。

同社の岡本社長は「新分野への挑戦、売り上げ計画数字には組み込んでいないが、新規の起業家もついでに営業したい」と話している。

アイロン基本設計見直し

パナソニック 80年ぶり形状変更

パナソニックは約20年ぶりにアイロンの基本設計を大幅に見直した。市場参入から80年経過したこともあり、基本形状が

ら刷新した。新モデルはアイロンのかけ面を業界で初めて前後対称とした「ダブルヘッドベース」を採用した。商品企画や設計では国内に加え、中国・広州市にある製造拠点からも技術者がプロジェクト

に参加し開発を進めた。同製品では特許7件を業界で初めて前後対称とした「ダブルヘッドベース」を採用した。新しい形状では前後両方向から使えるため、ワイシャツであればアイロンかけ時

間を約20%短縮できるといふ。一部機種は海外で先行販売しており、米国で前年同期比1.9倍(2009年7~12月)、マレーシアで同9.2倍(同8~12月)となるなど販売は好調という。

カルルの市場想定価格は1万2000~1万7000円。月産1万7000台を計画。そのほかコード付きも2機種発売する。同社は、10年度で180万台と09年度から微増の国内市場において、新モデル投入によって前年度比15%増の80万台の販売を目指す。

同社が「スーパードライ」でアイロンに参入したのは1927年。以来、基本形状は変わっていない。



アイロンの基本設計見直し前後の形状比較

一部機種は海外で先行販売しており、米国で前年同期比1.9倍(2009年7~12月)、マレーシアで同9.2倍(同8~12月)となるなど販売は好調という。

カルルの市場想定価格は1万2000~1万7000円。月産1万7000台を計画。そのほかコード付きも2機種発売する。同社は、10年度で180万台と09年度から微増の国内市場において、新モデル投入によって前年度比15%増の80万台の販売を目指す。

同社が「スーパードライ」でアイロンに参入したのは1927年。以来、基本形状は変わっていない。

同社が「スーパードライ」でアイロンに参入したのは1927年。以来、基本形状は変わっていない。

部品に「問いかけ」、条件導く

顧客に合わせて社員一人ひとりがノウハウを保有している

【横濱】神奈川県は、県内中小企業経営者を対象に「KIP会勉強会」を始める。KIPの窓口相談で多く寄せられる課題を取り上げ、知識や経験の積み上げにより解決を支援する。会を通じた県内企業のネットワーク構築も狙う。

まずは日本経営士会神奈川県会の企画で経営セミナーを開く。経営士が講師となってテーマごとに講義や演習を行う。第一弾は「販路開拓・営業力強化の進め方」がテーマ。2月2日からは「財務面から経営力を強化する」を開く。

定員は各シリーズ30人。申し込みは1月14日(木)までに、事務局(神奈川県川崎市多摩区、沼上昌範社長)宛に「日本パッケージ」

中小を対象に勉強会

神奈川産業振興センターなど 問題の解決支援

【横濱】神奈川県産業振興センター(KIP、横濱市中区、神谷光信会長、045-633-5000)と会員企業からなるKIP会は22日から、県内中小企業経営者を対象に「KIP会勉強会」を始める。KIPの窓口相談で多く寄せられる課題を取り上げ、知識や経験の積み上げにより解決を支援する。会を通じた県内企業のネットワーク構築も狙う。

まずは日本経営士会神奈川県会の企画で経営セミナーを開く。経営士が講師となってテーマごとに講義や演習を行う。第一弾は「販路開拓・営業力強化の進め方」がテーマ。2月2日からは「財務面から経営力を強化する」を開く。

定員は各シリーズ30人。申し込みは1月14日(木)までに、事務局(神奈川県川崎市多摩区、沼上昌範社長)宛に「日本パッケージ」

【横濱】神奈川県は、県内中小企業経営者を対象に「KIP会勉強会」を始める。KIPの窓口相談で多く寄せられる課題を取り上げ、知識や経験の積み上げにより解決を支援する。会を通じた県内企業のネットワーク構築も狙う。

まずは日本経営士会神奈川県会の企画で経営セミナーを開く。経営士が講師となってテーマごとに講義や演習を行う。第一弾は「販路開拓・営業力強化の進め方」がテーマ。2月2日からは「財務面から経営力を強化する」を開く。

定員は各シリーズ30人。申し込みは1月14日(木)までに、事務局(神奈川県川崎市多摩区、沼上昌範社長)宛に「日本パッケージ」

【横濱】神奈川県は、県内中小企業経営者を対象に「KIP会勉強会」を始める。KIPの窓口相談で多く寄せられる課題を取り上げ、知識や経験の積み上げにより解決を支援する。会を通じた県内企業のネットワーク構築も狙う。

まずは日本経営士会神奈川県会の企画で経営セミナーを開く。経営士が講師となってテーマごとに講義や演習を行う。第一弾は「販路開拓・営業力強化の進め方」がテーマ。2月2日からは「財務面から経営力を強化する」を開く。

定員は各シリーズ30人。申し込みは1月14日(木)までに、事務局(神奈川県川崎市多摩区、沼上昌範社長)宛に「日本パッケージ」

環境技術確立 長い目で

【セミドリ加工技術で、省エネや油剤の使用量を削減するための最適な切削条件を確立したい】というのは高砂精密(埼玉県川越市)社長

の山田英雄さん。同加工技術を研究する東洋大学教授と連携して進める。環境で、同大

の山田英雄さん。同加工技術を研究する東洋大学教授と連携して進める。環境で、同大

の山田英雄さん。同加工技術を研究する東洋大学教授と連携して進める。環境で、同大

の山田英雄さん。同加工技術を研究する東洋大学教授と連携して進める。環境で、同大

DDK活動

【川越】高砂精密(埼玉県川越市)社長

の山田英雄さん。同加工技術を研究する東洋大学教授と連携して進める。環境で、同大

の山田英雄さん。同加工技術を研究する東洋大学教授と連携して進める。環境で、同大

助け合いをシステム化

【川越】高砂精密(埼玉県川越市)社長

の山田英雄さん。同加工技術を研究する東洋大学教授と連携して進める。環境で、同大

づくりフレンズシップ2010 開催!

FRIENDSHIP 2010

集結するビジネスチャンスの変換点 参加企業募集!!